

空気感染 (飛まつ核感染)

ウイルスや細菌が空気中に漂っていてそれを吸い込むことによって感染します。どんなに遠く離れていても、同じ部屋にいただけで届いてしまいます。

マンガで学ぶ予防接種 ～染子先生のおはなし～

その③

MRってなあに？

学くん、空気を介して感染する病気があること知ってる？



学くん



染子先生

国立感染症研究所 感染症疫学センター

麻しん (はしか) は、麻しん (Measles) ウイルスの空気感染・飛まつ感染・接触感染によって起こります。感染力が強く予防接種を受けていないと一生のうちのどこかでかかってしまう病気です。発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、めやに、発疹などを主症状とします。主な合併症には肺炎、中耳炎、脳炎などが挙げられます。また、亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) という脳炎は麻しんが治ってから数年～10年ほどしてから発症する病気で、麻しんにかかった人約10万人に1、2人発生します。

ひとつは麻しん！ (はしか)

麻しん (はしか) にかかると千人に一人の割合で亡くなってしまうのよ

風しんは、風しん (Rubella) ウイルスの飛まつ感染・接触感染によって起こります。発疹、発熱、リンパ節腫脹などが主症状で、そのほかには眼球結膜の充血もみられます。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。

もうひとつは風しん

例えば学くんがかかったと風しんにかかったとするでしょ？

うん



飛まつ感染

せきやくしゃみ、会話などで飛び散った飛まつに含まれるウイルスが、口や鼻などから入って感染します。飛まつは約2m以内にいると吸いこんで感染してしまいます。

それを妊婦さんに
うつしてしまうと
赤ちゃんが先天性
風しん症候群という
病気になってしまう
ことがあるの

えっ!
!?

妊婦さんが妊娠早期(妊娠20週ごろまで)に風しんウイルスに感染すると、おなかの赤ちゃんが先天性風しん症候群と呼ばれる病気により心臓病、白内障、難聴などの障害をもって生まれてくる可能性があるのです。



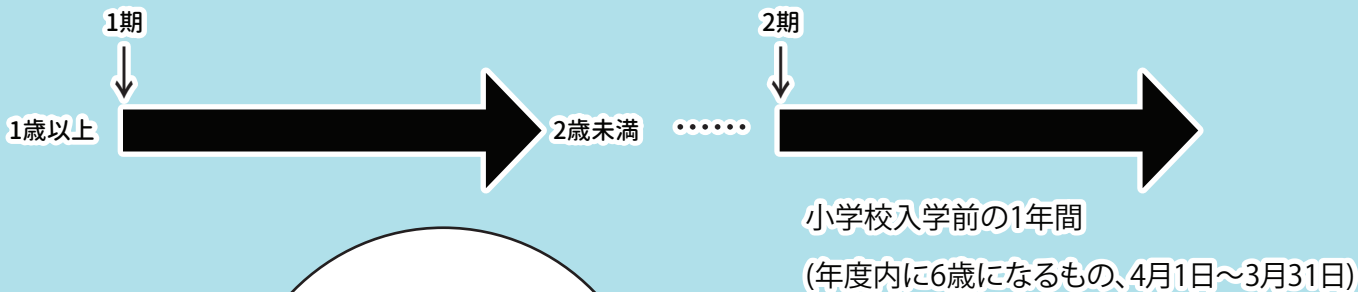
そこで!
MRワクチンを
接種するのが
大切というわけ

標準的な接種のしかた

〔接種年齢〕1期は1歳以上2歳未満、2期は5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間(年度内に6歳になるもの)

〔接種回数〕1期、2期ともに1回。いずれも1回に0.5mLを注射します。

〔2回接種です〕



接種後に気になる
症状が出たら
慌てずに
お医者さんに
相談してね

1歳になったらなるべく早く第1期の予防接種を受けるようにしてください。

小学校入学前1年間(幼稚園の年長組・保育所の5歳児クラス(最年長))に2回目を忘れずに受けてください。

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)は、麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化してつくったワクチンです。麻しん及び風しんの予防接種を同時に行う場合は、原則MRワクチンを使用することとされています。主な副反応は発熱と発疹で、その他にはじんましん、関節痛、熱性けいれんなどが挙げられます。

